

みなさん、こんにちは。

ブラジル派遣の渡辺なぎさです。

日本は花粉がぶんぶんしている頃でしょうね。去年、花粉症の症状がひどく顔がお化けのようになりRYRAに眼帯して遅刻して行ったことを思い出しました。1年前のことですが果てしなく昔のようです。

日本ではもう派遣生が決まり、ブラジル派遣候補生と私は連絡取り合っています。そう考えると私は、もう古い人なのですね。なんだか悲しいです。ブラジルで半年が過ぎました。今、これを書きながら初心を思い出しているのですが、私は達成しているのだろうか？と不安になってきます。小さな親善大使として留学できるなんて、人生で1度のチャンスです。気持ちを切り替え改めて、悔いがないようにこれからも頑張ろうと思います。

2月は結構泣いた月です。

この新しいホストファミリーは去年までドイツ人の女留学生がいました。彼女は全てが完璧だったらしく、よくその話をママに聞かされます。その子と私を比べると“月とスッポン”のような存在です。「学校のポルトガル語のテストで彼女は満点を取った」とママはよく言います。私はどう頑張っても、取れないと思うのです。そんな私の可能性の無さが悔しく情けなく、またママは私より彼女の方が好きなのでは？という、証拠もないことを考えてしまい、よくお手伝いさんのところに駆け込んで泣きました。お手伝いさんはいつも優しく慰めて抱きしめてくれて、私にとってはこの家で唯一心が開ける存在でした。

そのお手伝いさんが、弟のお金を取ったと疑われこの家を辞めてしまったのです。辞めることを1番に私に打ち明けてくれたのですが、すごく悲しくてたくさん泣きました。そのときに「辛いことがあったら、電話して。あなたのことは大好きだからいつでも歓迎よ。この家に来た留学生の中で、1番素晴らしい人間だから」と言われました。素直に嬉しかったです。私の方が素晴らしい、と言ってくれる人もいるのです。自分に自信が無かった私ですが、前向きになれました。

もう半年過ぎてしまいました。まだ半年あります。頑張れば可能性は十分あると思うのです。容姿や天性はどんなに頑張っても彼女には劣りますが、ポルトガル語で満点は努力次第で可能性はあります。最近なまけていた私は頑張ります！

2月は他の月にないくらい他の留学生と関わった月です。

まずはこの家にドイツ人の男の子が泊まりに来ました。なぜかという、この家の長男は只今ロータリーでドイツに留学していて、その彼のホストの息子はブラジルに留学中ということでこの家に遊びに来たのです。彼は私より1つ年下なのですが、来る前にポルトガル語を1年以上勉強してきたらしく、上手かったので良い刺激でした。彼と弟と従弟で川下りに行きました。普段できないことが出来て楽しかったです。

そして私の学校の同じクラスにコロンビアのロータリーの留学生が転入してきました。彼ももちろんロータリーの留学生です。南米からの留学生は年初めに留学がスタートするので、今来たのです。彼はブラジルに着いたばかりなので、ポルトガル語が出来ません。ただ、スペイン語が彼の母国語でポルトガル語と似ているから、ゆっくり話せばだいたい理解できます。最初来た時に、自分がしてほしかったこと、知りたかったことを教えられれば良いなと思います。

そんな彼に会いに、私の町に同じ地区のドイツ人の女の子が私の家に来ました。一緒にフェスタに行ったり、

3人でコロンビア人の家に行ったりしました。自分の家に自分の友達が泊まったのは初めてで嬉しかったし、気を使ったので疲れました。でも楽しい日々を過ごせました。



留学生と関わることで自分のポルトガル語力が良く分かりました。今までは私の方が上で英語しか話してなかった子たちなのに、いつの間にか私を越していることにショックです。かなり油断していたのだと思います。最初にも書いた通り、初心に戻って頑張ろうと思います。

1つ残念なニュースが...カメラが壊れました。3月13日から17日まで、イグアス滝に行くのに写真が撮れないので残念です。あと、パソコンも壊れかかっています。

次の報告までパソコンが壊れてないことを願っててください。  
では、さようなら。